

科目名	健康生活看護学(精神概論)1			ナンバリング	PEN121	授業形態	講義
対象学年	1年	開講時期	後期後半	科目分類	必修	単位数	1単位
代表教員	茂木泰子	担当教員	鈴木祐子				

授業の概要	生活者としての人間について、生涯の連続性の上でとらえる発達段階の特徴とそれに伴う精神関連の健康問題を把握するため、人間の精神機能を基礎とする理論や知識について学修する。具体的には、発達段階それぞれに特徴的な健康問題とそれに対する人間の反応を諸理論に基づいてとらえることをとおして、発達特性に合わせた対象理解の仕方および看護援助の方法について学修することにより、人間の成長発達に伴う精神機能の変化を連続性の上での理解を深める。						
到達目標	別紙参照						
学習のアドバイス (勉強方法、履修に必要な予備知識など)							
ディプロマポリシーとの 関連	【看護学部看護学科のディプロマポリシー】						
	○	1. 広い視野と豊かな教養に基づき、看護の担い手としてふさわしいヒューマニズムと倫理観を身につけている。					
		2. EBN(Evidence Based Nursing: 根拠に基づいた看護)に基づき、自律的に看護を実践することができる。					
	○	3. 生命の尊厳と人権を尊重する姿勢を身につけ、多職種と連携・協働することができる。					
		4. 地域の健康課題に関するニーズをとらえ、災害時の援助活動も含め、積極的に地域貢献できる能力と態度を身につけている。					
	○	5. 看護専門職として科学と看護の進展に対応するために、生涯にわたって持続可能な主体的学修ができる。					

標準的な到達レベル(合格ライン)の目安	理想的な到達レベルの目安
別紙参照	別紙参照

評価方法	成績評価観点						評価割合
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	その他	
定期試験(中間・期末試験)	○	○					80%
小テスト・授業内レポート	○		○		○		20%
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加			○	○			加点はせず、減点する

課題、評価のフィードバック	1. 授業の中で実施する課題演習に関する疑問や感想などについては次回の授業でコメントする 2. 期末試験の評価については一定期間に開示する
---------------	--------------------------------------------------------------------------

	回次	テーマ	授業内容	備考
授業計画	第1回	精神看護学とは	精神看護学の基本的な考え方	
	第2回	人間のこころと行動	人間のこころ在り方	
	第3回	人間の人格と情緒の発達	人間の人格と情緒の発達	
	第4回	ライフサイクルとメンタルヘルス①	1. ライフサイクルとストレス 2. 乳幼児期・学童期におけるメンタルヘルス	
	第5回	ライフサイクルとメンタルヘルス②	思春期・青年期、成人期、老年期におけるメンタルヘルス	
	第6回	ライフサイクルとメンタルヘルス③	ライフサイクルの統合学修	
	第7回	家族とその支援	現代社会における家族とその支援について解説	
	第8回	1. まとめ 2. テスト	1. 本講義のまとめ 2. テスト	
	第9回			
	第10回			
	第11回			
	第12回			
	第13回			
	第14回			
	第15回			
		試験	期末試験を実施する。日程については後日掲示板を確認すること。	
授業の進め方		基本的に講義と質疑応答とする。授業内容に関連する数回のグループワークを実施する。		
授業外学習の指示		mana@にアップされた資料などを随時確認する。また、次回の講義に対応する教科書の該当箇所を読み、概要を理解しておく。講義で学修した内容は講義後には必ず復習する。 (授業外学習時間： 毎週 180 分)		

教科書	ナーシング・グラフィカ 情緒発達と精神看護の基本 精神看護学① 第4版.メディカ出版.2017.
参考書	講義によって紹介することがある
参考URLなど	なし
その他	講義にはタブレットPCとiPadを必ず持参すること